



救護班第2班出発式の様子

[特集1] 当院の能登半島地震への対応

[特集2] 泌尿器科「新しい前立腺肥大症の手術療法」

Vol.59

基本理念：「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針：「患者さま中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」



令和6年度を迎えて

院長 鈴木 恭一



最近の日本社会には歪みが生じています。データを改竄して新車の認証試験を通した自動車メーカーや、パーティー券を販売して得た収益を報告しなかった政治家など、社会的に批判を浴びるニュースが続きました。「経営理念」や「行動規範」がないこと、有っても空文化していることが背景にあると思います。こうしたニュースを聞くたびに、常に理念を意識して行動することの大切さを感じます。当院の職員は「いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」という基本理念に基づいて行動しています。この理念を持ち続けることで、患者様から感謝され、地域に貢献していることを実感しながら仕事を続けることができます。これは職員にとって本当にありがたいことです。これからも理念に従って、誇りと自信を持って診療にあたりたいと思います。

今年度、医療界では様々な取り組みが始まります。まず、医師の働き方改革が4月から義務化されました。医師は、一人ひとりの患者様に常に最善を尽くすため新しい診断や治療法を追求し、それを活用するために研鑽を重ねています。こうした医師の研修は、医療水準の維持・向上に欠かせません。一方で時間外労働が年間960時間という過労死ラインを超えると、医師自身の健康が侵されるだけでなく、作業能力が低下して医療の安全が低下すると言われていきます。当院は、医療水準の維持・向上に努めるとともに職員の健康を守りながら安全な医療を目指してまいります。地域の皆さまにもご理解いただけますようお願い致します。

6月には令和6年度診療報酬改定が実施されます。多くの重点項目の中で、自立支援や重症化予防のための医療効率化に対する評価が追加されました。当院も多職種によるチーム医療を進めてまいります。例えば、リハビリテーションや栄養管理・口腔管理により嚥下機能や口腔衛生を改善することで、誤嚥性肺炎の予防に繋げてまいります。また、入院後早期に退院困難な患者様を見つけ出し、早期に患者・家族との面談を行います。さらに医師や看護師だけでなく薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなど多職種によるカンファランスを通して患者様がより適切な医療や介護に早期に繋がられるよう取り組みを進めます。

今後も地域の皆様から信頼される病院であり続けるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

新任医師紹介

呼吸器外科



部長
しお 塩 豊

出身大学
福島県立医科大学
平成4年卒

専門とするもの

肺の外科治療

認定医・専門医

呼吸器外科専門医 がん治療認定医
肺がん CT 検診認定医

メッセージ

肺癌、気胸の治療を中心に行っております。肺癌の治療はここ数年で大きく変化しています。福島大呼吸器外科と連携して最先端の医療を安全に行えるようにしてまいります。気胸の病態は様々で一筋縄ではいかない疾患です。多くの治療方法を知っている必要があります。

整形外科



部長
さ さ きのぶゆき
佐々木信幸

出身大学
福島県立医科大学
平成16年卒

専門とするもの

手外科・整形外科

認定医・専門医

日本整形外科学会専門医
日本手外科学会専門医

メッセージ

整形外科の中でも手外科を中心に研修して参りました。手の不調にお困りでしたら、ご相談ください。よろしくお願ひいたします。

泌尿器科



副部長
お な ぎ あきふみ
小名木彰史

出身大学
福島県立医科大学
平成27年卒

専門とするもの

泌尿器悪性腫瘍

認定医・専門医

日本泌尿器科学会専門医

メッセージ

地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

麻酔科



副部長
は な や ま ち え
花山千恵

出身大学
福島県立医科大学
平成20年卒

専門とするもの

麻酔

認定医・専門医

麻酔科専門医

メッセージ

福島大から異動してきました花山です。10年位前にも、福島赤十字病院の麻酔科に勤務していたことがあるので、もしかしたら外来や手術室でお会いしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。新しくなった赤十字病院でも、患者さん達が安心して手術を受けられるように、お手伝ひしていきますのでよろしくお願ひします。

脳神経外科



副部長
いとう ゆうへい
伊藤 裕平

出身大学
福島県立医科大学
平成26年卒

専門とするもの
脳血管障害

認定医・専門医
脳神経外科専門医
脳卒中専門医
脳卒中の外科学会技術認定医
脳神経血管内治療学会専門医
神経内視鏡学会技術認定医

メッセージ
開頭手術と脳血管のカテーテル治療を中心に、脳卒中の予防、診断、治療を専門に行っています。よろしくおねがいします。

脳神経外科



うづき だい
大 卯月

出身大学
福島県立医科大学
令和元年卒

専門とするもの
脳外科一般

メッセージ
2023年10月より赴任いたしました。
脳神経外科領域から県北地区の医療に
貢献していきたいと思ひます。

消化器内科



いりえ ひろき
大樹 入江

出身大学
福島県立医科大学
平成24年卒

専門とするもの
消化器全般 特に胆膵疾患

認定医・専門医
日本内科学会認定医
JMECC インストラクター
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

メッセージ
地元として縁ある病院で働けることを
大変嬉しく思ひます。
精一杯頑張りますので、よろしくお願
い申し上げます。

消化器内科



いしざき ゆうと
優斗 石崎

出身大学
福島県立医科大学
平成29年卒

専門とするもの
消化器内科

認定医・専門医
日本内科学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

メッセージ
地域の皆様のお役に立てる様、精一杯
努力します。

消化器内科



ごとう さゆり
沙由里 後藤

出身大学
岩手医科大学
令和2年卒

専門とするもの
救急医療

メッセージ
令和4年より福島医大高度救命救急セン
ターで救急医療に従事しております。4月
から半年間、消化器内科医師として地域の皆様
に貢献できるよう、精一杯努めて参ります。
どうぞ宜しくお願いいたします。

糖尿病・代謝内科



かとう ひとみ
瞳 加藤

出身大学
福島県立医科大学
令和3年卒

専門とするもの
糖尿病・内分泌内科

メッセージ
地域の皆様のお役に立てるよう、日々
精進して参ります。
よろしくお願い致します、

外科



なかおか ゆうき
勇貴 中岡

出身大学
福島県立医科大学
令和3年卒

専門とするもの
外科

メッセージ
患者様のために誠心誠意頑張ります。

循環器内科



さとう ようた
洋太 佐藤

出身大学
福島県立医科大学
令和2年卒

専門とするもの
循環器疾患

メッセージ
患者様に寄り添った診療を心がけて参
ります。よろしくお願い致します。

耳鼻咽喉科



さいとう あんず
杏 斎藤

出身大学
福島県立医科大学
令和2年卒

専門とするもの
耳鼻咽喉科

メッセージ
五感のうち嗅覚、味覚、聴覚の三感を
司る耳鼻咽喉科は人生の彩度を高める診
療科であると考えています。みなさまが
焼きたてのパンの香りを嗅ぎ、その上
で溶けるバターのココを味わい、大切な
ひとの声を聴く、豊かな人生の一助とな
れるよう歩んで参る所存です。

脳神経内科



おおしま まみ
麻美 大島

出身大学
福島県立医科大学
令和2年卒

専門とするもの
脳神経内科

メッセージ
地域の皆様のお力になれるよう、誠心
誠意つとめます。
よろしくお願い致します。

[特集]

令和6年能登半島地震における当院の救護活動

令和6年能登半島地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日(月)16時10分、石川県能登地方を震源とする、マグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生し、津波、余震、火災等により大きな被害をもたらされました。

1月6日以降、当院は派遣要請に応じて、医療救護班等を派遣し現地支援に取り組みました。

【医療救護班】

災害時に即応的に対応するために組織される、日本赤十字社独自の災害救護チーム。医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名（薬剤師1名）から構成され、現地での巡回診療や避難所の環境整備等を行いました。

〈派遣期間〉	：	1月23日～1月27日	第3救護班	
1月6日～1月10日	第1救護班	：	2月1日～2月5日	第4救護班
1月17日～1月21日	第2救護班	：	2月15日～2月19日	第5救護班

【日赤災害医療コーディネーターチーム】

“日赤災害医療コーディネーター”から構成されるチームで、行政・医療機関と連携し、救護チームの派遣調整や対応策の検討を行いました。

〈派遣期間〉 2月3日～2月9日 第1班 / 3月7日～3月13日 第2班

【こころのケア班】

日本赤十字社独自のチームです。ストレスや精神的ダメージに苦しむ被災者、自治体職員、ボランティア等に対し心理的支援を実施しました。

〈派遣期間〉 2月22日～2月28日

【福島 DMAT（災害派遣医療チーム）】

福島県が管轄する災害救護の専門的な訓練を受けたチームです。当院からは業務調整員1名を派遣し、輪島保健福祉調整本部での本部活動を行いました。

〈派遣期間〉 2月1日～2月6日

【被災地病院支援看護師】

厚生労働省からの要請により、業務で逼迫している被災地の医療機関を支援するため、看護師1名を派遣しました。

〈派遣期間〉 2月1日～2月7日

【日本精神保健福祉士協会ニーズ調査】

日本精神保健福祉士協会の依頼を受け、被災地の支援ニーズを把握するため、精神保健福祉士1名を派遣しました。

〈派遣期間〉 1月28日～1月30日



避難所の巡回診療（第1救護班）



班内での情報共有（第1救護班）



避難所の巡回診療（第2救護班）



災害対策本部内ミーティング
（日赤災害医療コーディネートチーム第1班）



マッサージケア
（こころのケア班）



本部での派遣調整
（日赤災害医療コーディネートチーム第2班）

新しい前立腺肥大症の手術療法

光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)のご紹介
～低侵襲で安全性も高い手術が可能となりました～



泌尿器科部長
片岡 政雄



泌尿器科部副部長
小名木 彰史

前立腺肥大症とは

中高年の男性に見られる良性の疾患で、前立腺が加齢と共に徐々に肥大していくものです。組織学的な肥大は30歳代から始まり、50歳では30%、60歳で60%、70歳で80%、80歳では90%にみられます。肥大によって尿道が圧迫されるため、尿の排出障害の原因となり、尿の出方が悪い、頻繁にトイレに行きたくなる、排尿後もすっきりしない、尿がたまっているのに全く出ないなどの様々な症状が出ます。

はじめは薬で症状が改善しますが、十分に改善しない場合や薬の長期服用を避けたい場合、また多量の残尿を認めたり、腎機能低下を来す、出血するなどの症状が認められる際には肥大した部分を切除する手術が行われます。

患者さまに優しい前立腺肥大症の手術とは

従来から低侵襲手術として、水（灌流液）で視野を確保しながら尿道から内視鏡を挿入して、肥大した前立腺を高周波メスで切除する手術（TUR-P）が広く行われてきました。この手術は高い治療効果があるものの、術中術後の出血や、術後に尿道カテーテルを留置する期間が長いこと、また灌流液の吸収により低ナトリウム血症を起こすリスクがありました。そのため、脳血管や循環器の疾患で抗凝固薬を服用している高齢の患者さんには手術を行うことが難しいとされてきました。

新しい治療法である光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）は、これらの課題に対応しているため、より患者さんに優しい手術と言えます。

光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）とは

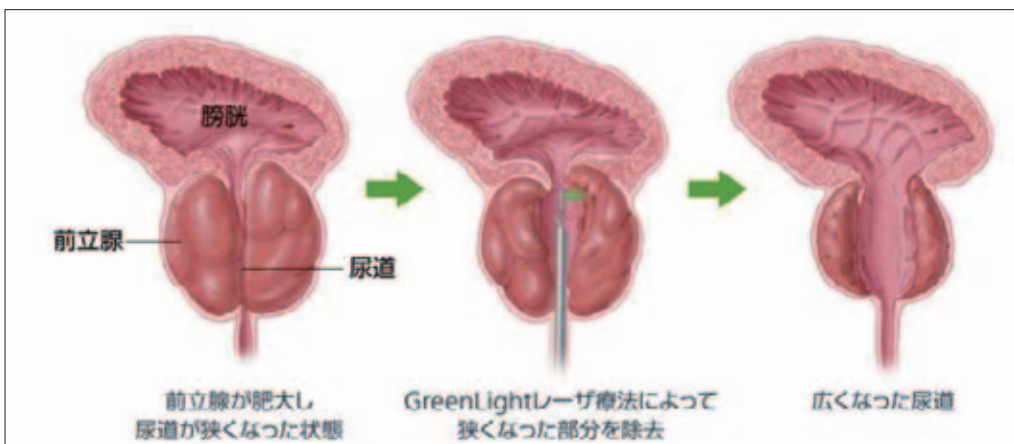
PVP に使用する緑色レーザー光は、水にはほとんど吸収されない一方、血液中の酸化ヘモグロビンに選択的に吸収され、強い熱エネルギーを生じさせる特性があります。

水（灌流液）で視野を確保しながら、内視鏡を使って血流の豊富な前立腺組織にこのレーザー光を照射すると、組織は瞬時に加熱・気化（蒸散といいます）され、同時に、蒸散部の表面に1～2mm程度の薄い凝固層ができます。PVP では、緑色レーザー光による肥大組織の強力な蒸散効果と確実な止血凝固効果が発揮されるため、前立腺肥大症による下部尿路閉塞が効率的かつ安全に解除されます。

これまで、なかなか手術が受けられなかった脳血管や循環器疾患などで抗凝固剤服用中の方も、手術を受けることが可能になります。

PVP では前立腺組織を蒸散させるため、組織が採取できないことが難点とされています。前立腺肥大症は良性疾患ですが、まれに悪性の前立腺がん細胞が発見されることがあります。当院ではPVPの前にPSA（前立腺腫瘍マーカー）値を調べ、前立腺がんが疑われる方には前立腺針生検を行うことできちんとした診断の上で治療を進めていきます。

前立腺肥大症と PVP 手術のイメージ像



よくあるご質問：

● PVP の入院期間：

手術の前日入院で、多くの方は通常5泊で退院可能です。
(従来の TUR-P では、入院期間は10日前後とされています。)

● PVP の費用：

保険診療になりますので、6万から15万円程度になります。(保険の種類・負担割合によって違います。)
詳しくは地域医療連携室・泌尿器科外来までお問い合わせ下さい。

患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します。

1. 良質な医療を公平に受ける権利。
2. 個人の尊厳が守られる権利。
3. 医療上の個人情報（プライバシー）が守られる権利。
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利。
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利。
6. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利。



患者さまへのお願い

福島赤十字病院は患者さまに次の事項を守っていただきます。

1. 適切な診療を受けるために、ご自身の健康状態、病歴などの情報を正確に医療スタッフに提供してください。
2. 診療内容は納得いくまで説明を受け、自ら理解した上で検査・治療を受けてください。
3. すべての患者さまが適切な医療を受けられるよう、病院の規則や職員の指示に従ってください。

臨床研修の理念

医師が、医師としての人格をかん養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることのできる臨床研修を行う。

看護部

福島赤十字病院で一緒に働きませんか？

時代が変わっても、看護は療養環境を整え、患者様に心と目を配り、手当てを行い、治療の力を高めるという普遍的なものです。そのため、看護職員の「人間性」を高めることが大切です。患者様に良質な看護を提供するため、看護職員一人ひとりと向き合い、主体的な学習支援と看護実践に努めてまいります。

福島赤十字病院で、私たちと一緒に働きませんか？

福島赤十字病院 看護部長 車田 真美



〈看護部の基本方針〉

私たちは高い倫理観を持ち、安全で質の高い、心温まる看護の提供に努めます。

《福島赤十字病院 看護部 3つのキーワード》

1. 新人教育体制

1年3カ月の研修には、先輩看護師に同行し“見て体験・学習”するシャドウ研修や、新人が相談しやすい環境をつくるためのプリセプターシップを取り入れており、看護実践力を向上させることで、2年目のラダー取得を支援します。



2. 救急医療

福島市の第2次救急指定病院として、令和5年度は4,000件以上の救急車を受入れました。「可能な限り救急患者を断らない」をモットーに、医師、看護師、放射線技師、検査技師等、他部門とのチーム医療を実施しています。



3. 災害救護

当院は日本赤十字社グループの一員であり、また、福島県の災害拠点病院及び原子力災害拠点病院です。救護看護師養成プログラムや日本赤十字社、都道府県の救護訓練を通して、災害時に貢献できる看護師を育成しています。



詳しくは病院 HP へ！



▲病院 HP「看護部」



▲病院 HP「採用情報」

患者様の声

当院1階には、患者様のご意見・ご感想を伺うため、ご意見箱を設置しております。頂いたすべてのご意見を全職員にて共有し、より良い診療・サービスを提供できるよう改善点の検討を行っております。

今回は、実際に患者様から頂いたご意見をご紹介します。

<膀胱鏡検査での検査用パンツについて>

ご意見

(前略) 膀胱鏡検査を受けた際、検査用パンツの着用なしでの検査に驚愕いたしました。大腸カメラでは検査用パンツを着用するのに何故膀胱鏡検査時には下半身をむき出しにしなければならないのでしょうか？ 不必要な露出は避けるべきだと思いますし、もう少し患者の羞恥心について考慮して頂いても良いのではないのでしょうか？ 是非今すぐ膀胱鏡検査時の検査用パンツ使用について懇願いたします。(後略)

回答・改善

この度の貴重なご意見を受け、膀胱鏡検査の検査用パンツを導入いたしました。患者様からのご意見が寄せられるまで気づかなかったことは、本当に反省しきりです。今後、多くの患者が安心して検査を受けられるようになると考えております。

<受付票の掲載内容について>

ご意見

昨年から保険証の確認方法が変更されました。その数か月後、会計でしばらく待たされました。保険証の確認をせずに会計まで来てしまったからです。(中略) 受付票には大きく赤字で表示されるものと思い込んでいました。提案です。受付票に4倍角の文字で表示してはいかがでしょうか。(後略)

回答・改善

この度は、ご不便、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。ご意見を受け、受付票に記載されている保険証確認が必要であるメッセージを『大きな文字に変更』し、『★印を文頭につける』ことで、今までより分かりやすい表示へと変更いたしました。

<病院内のWi-Fi環境について>

ご意見

○待合椅子で診察を待っている間、スマホでネットにつなげるようにWi-Fiを使用できるようにして頂きたい。(後略)

○また入院するならこの病院がいいです。次に入院するときは、Wi-Fiをつけてください。

回答・改善

当院では電子カルテ・医療機器を無線環境で使用しており、それらへの影響を考慮し、患者様へWi-Fi環境のご提供は行っておりません。病院で使用するWi-Fi環境は、電子カルテや医療機器への影響がないように高度で正確な通信環境が求められます。しかしながら、患者様にとってWi-Fi環境ニーズが高いことも認識しており、療養環境整備の観点から、Wi-Fi環境の構築が可能かどうか検討・検証しております。

引き続き、患者様により良い医療サービスを提供できるよう取り組んでまいります。



臨床研修医紹介



あつみ りょう
安積 峻

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

福島の地で地域の皆様に、確実に安心できる医療を提供できるように日々精進して参ります。

よろしくお願い致します。



おやけ てつろう
小宅 哲郎

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

福島赤十字病院で初期研修を行えることを大変嬉しく感じると同時に身の引き締まる思いがします。精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。



けんもく よしき
見目 能基

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

未熟ではありますが、これから福島の医療に貢献できるよう日々精進し、成長していく所存です。

どうぞよろしくお願いたします。



てらしま たかと
寺島 高人

出身大学

東北医科薬科大学

メッセージ

生まれ育った福島で働けることを大変嬉しく思います。少しでも早く地元の力になれるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。



まきしきまさひろ
真喜志清将

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

未熟者ですが、福島の医療に貢献できるよう、日々学んでいきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いたします。



やぶきけんじろう
矢吹拳士朗

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

日々の研修を通して、先生方や患者さまより多くのことを学び、福島の医療に少しでも貢献できたらと思ひます。よろしくお願いたします。



わたなべ ゆうか
渡部 佑佳

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

地元である福島で働くことができ、大変嬉しく思っております。

福島市の医療に少しでも貢献できるよう、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



わたなべ ゆうすけ
渡部 祐亮

出身大学

福島県立医科大学

メッセージ

患者さんのため、福島市の地域医療のために、全力で働きたいと思ひますので、何卒よろしくお願申し上げます。

福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

土屋眼科医院

■院長 土屋 牧雄 先生

～土屋先生からのメッセージ～

皆様のおかげで開院30年を迎えることができました。

親切な目医者さんの心を持って診療しています。

当院では年間約500件の日帰り白内障手術を行っています。



《診療科》

眼科

《住所》

〒960-8131

福島市北五老内町6-6

《電話》

024-534-0151

《休診日》

木・日・祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~11:30	○	○	○	×	○	○	×
午後	14:00~17:00	○	×	○	×	×	×	×

スリープ呼吸器内科クリニック

■院長 佐藤 俊 先生

～佐藤先生からのメッセージ～

当院は令和元年5月に開院し、呼吸器疾患、睡眠時無呼吸症候群を中心に内科診療を行うクリニックです。特に喘息や持続する咳嗽の診療には多くの患者さんに受診いただき、「咳で眠れない夜がないように」をモットーに症状の緩和を第一に診療しております。呼吸器疾患は多彩でその診断や治療には病診連携が不可欠です。お忙しい中いつもお力添えいただける福島赤十字病院スタッフの皆様には大変感謝しております。今後も地域のお役に立てる医療機関を目指し努力してゆきたいと存じます。



《診療科》

内科・呼吸器内科

《住所》

〒960-0102

福島市鎌田字町東2番9

《電話》

024-572-7040

《休診日》

水曜・日曜・祝日・土曜午後

	受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~11:45	○	○	×	○	○	○	×
午後	14:30~17:45	○	○	×	○	○	×	×

※初診の受付は午前11時・午後17時まで

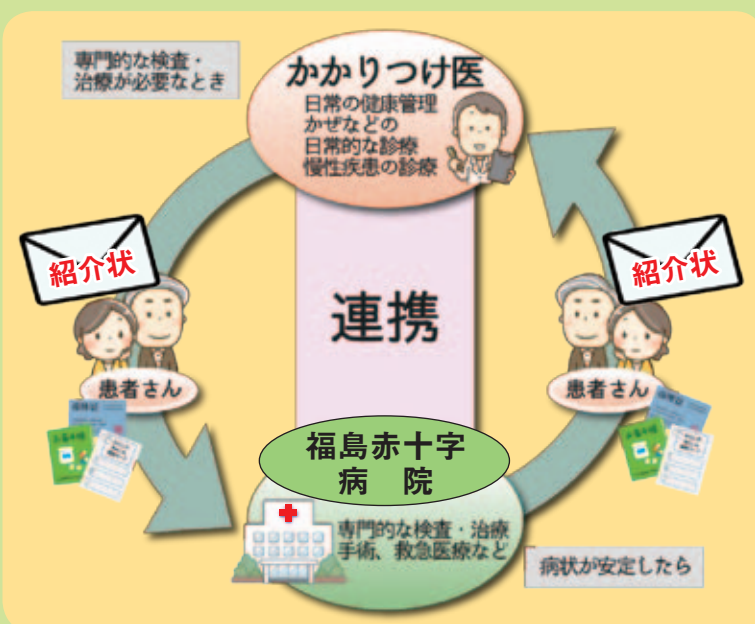
病院には、 それぞれの役割があることをご存知ですか？

当院は急性期病院であり、急性期の患者さん／他の医療機関での治療が困難な患者さん／専門的な検査・治療が必要な患者さんを、より多く受け入れる役割を担っています。

そのため、病状が安定した患者さん、同じ投薬を続けている（慢性期の）患者さんには、慢性期・回復期を担う「かかりつけ医（クリニック）」などの医療施設に移って頂き、より多くの新たな急性期の患者さんを受け入れていく必要があります。

対象の患者さんには、診察の際に担当医師より「紹介」のご案内をいたしますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

*紹介後も、病状に変化があった場合などには、かかりつけ医からの紹介状をいただいた上で、あらためて当院で治療を行いますのでご安心ください。



「かかりつけ医」をお持ちになり、医療機関の機能・役割に応じた、適切な医療機関への受診にご協力をお願いいたします。



福島赤十字病院